

廣瀬流和妻 師範免許交付式

廣瀬流初代家元 **廣瀬功洋**

平成 8 年(2026)1 月 7 日

昨年12月20日までに廣瀬流和妻指定八演目と和妻知識を習得した三名に師範免許に合格した。
この三名は、廣瀬流家元 廣瀬功洋の処に月二回以上三年に渡り厳しい稽古を重ねた結果、
この度の認可に繋がり、本日の免許交付となった。
なお、初代廣瀬功洋の名取師範の認可は今回が初回であるが最後となる門弟である。



織田幹雄スクエア



交付会場 安芸郡海田町 織田幹雄スクエア 式場



掛け軸「錬磨果敢」



家元 廣瀬功洋



覆い

「伊達家に伝わり中尊寺所蔵の「桐枝文様花色」と言って、能装束の正絹に使用されている紹組織の織物を復元させたもの。



開式

進行 芝辻紀仙寿

門弟番号 廣瀬愛洋(木村愛子)



家元・廣瀬功洋 免許読上



免許交付



看板読上



看板引き渡し



廣瀬愛洋（木村愛子）謝辞

門弟弐号 廣瀬育洋(長尾育代)



家元・廣瀬功洋 免許読上



免許交付



看板読上



看板引き渡し



廣瀬育洋（長尾育代）謝辞

門弟参号 廣瀬千洋(佐久間千代美)



家元・廣瀬功洋 免許読上



免許交付



看板読上



看板引き渡し



廣瀬千洋（佐久間千代美）謝辞



お開き

記念撮影



廣瀬功洋・廣瀬愛洋



廣瀬功洋・廣瀬育洋



廣瀬功洋・廣瀬千洋



全員揃い組

廣瀬育洋 廣瀬愛洋
家元・廣瀬功洋 廣瀬千洋

祝賀昼食会

梅の花 福屋 広島駅前店



※祝賀昼食会は、
廣瀬流和妻家元と南京玉簾
仙助流西日本家元の合同で
開催された。
なお、この企画は全て仙助流
西日本家元・芝辻千仙が執り
行った